

# 地域の課題 I (地域課題版) 2018年度

## 1) 概略

科目名称	地域の課題 I(地域課題版)
テーマ	東日本大震災からの復興過程における地域の課題を理解する
講義内容	「地域の課題」とは、地域の現状を把握し、望ましい未来を具体化したときに生じるギャップである。東北地方においても、人口減少、少子高齢化、グローバル化、気候変動等の事象変化により、様々な「地域の課題」が生まれている。本講義では、地域の課題が最も顕在化された震災復興過程における地域が抱える問題を俯瞰し、「生活の再建」「防災と減災」といった視点を通して、課題化し、解決に向けた解決策を検討する。
達成目標	震災復興過程の地域の課題を自らの関心領域・テーマとの関係性を明確にして、論理的に設定できる。また、特定の地域を設定し、地域課題の仮説を設定し、その仮説に対して自らできるアクションを導き出せる。

## 2) 講義スケジュール (予定)

	枠組	概要	事前の授業外学修	事後の授業外学修
第01回	ガイダンス	ガイダンス:この授業の目的と到達目標、学び方、留意事項について説明する。 地域課題版、地域企業版の講義概要を理解し、登録科目の選択決定をする。	「復興」の定義について自分なりに考えてみる	「復興」の定義について自分なりに考えてみる
第02回	コミュニティと生活再建(1)	大船渡市の事例をもとに、地域の現状と課題に関して、複数の視点とその背景を議論する。議論のポイント等をミニッツペーパーとして提出し、解決策をまとめた資料を次回授業時に提出する。	事例を読み込み、ワークシートに事例に対する気づき、課題等をまとめてくる。	ミニッツペーパーとして、授業内で議論したことを構造化し、提出する。
第03回	コミュニティと生活再建(2)	対象となる事例の根本的な原因に潜む葛藤の要因をそれぞれのステークホルダーの状況から整理し、様々な解がある地域の中で、大切にすべきことをまとめる。	課題の背景を深めるために、対象地域における当時の状況を調べ、まとめる。	ミニッツペーパーとして、授業内で議論したことを構造化し、提出する。
第04回	コミュニティと生活再建(3)	「コミュニティと生活再建」の中で、普遍的な知見を整理する。その視点から自分が探究したいこととこの地域の課題とどのような関係性があるかを整理しまとめる。	他地域の事例と比較し、検証することで、普遍的な知見を整理する。	今回の単元での学びを文章化し、800字程度のミニレポートを作成する。
第05回	防災と減災(1)	新地町の事例をもとに、地域の現状と課題に関して、複数の視点とその背景を議論する。議論のポイント等をミニッツペーパーとして提出し、解決策をまとめた資料を次回授業時に提出する。	事例を読み込み、ワークシートに事例に対する気づき、課題等をまとめてくる。	ミニッツペーパーとして、授業内で議論したことを構造化し、提出する。
第06回	防災と減災(2)	対象となる事例の根本的な原因に潜む葛藤の要因をそれぞれのステークホルダーの状況から整理し、様々な解がある地域の中で、大切にすべきことをまとめる。	課題の背景を深めるために、対象地域における当時の状況を調べ、まとめる。	ミニッツペーパーとして、授業内で議論したことを構造化し、提出する。
第07回	防災と減災(3)	「防災と減災」の中で、普遍的な知見を整理する。その視点から自分が探究したいこととこの地域の課題とどのような関係性があるかを整理しまとめる。	他地域の事例と比較し、検証することで、普遍的な知見を整理する。	今回の単元での学びを文章化し、800字程度のミニレポートを作成する。
第08回	中間ふりかえり	第1章・第2章のふりかえりを行うとともに、最終レポートの作成に向けて、自分が今後探究したいことの構造化と地域の課題との関連性の整理を行う。	これまでの学びをワークシートをもとに構造化してくる。	最終レポートの作成に向けて、必要な視点を整理する。
第09回	合意形成の意味(1)	名取市の事例をもとに、地域の現状と課題に関して、複数の視点とその背景を議論する。議論のポイント等をミニッツペーパーとして提出し、解決策をまとめた資料を次回授業時に提出する。	事例を読み込み、ワークシートに事例に対する気づき、課題等をまとめてくる。	ミニッツペーパーとして、授業内で議論したことを構造化し、提出する。
第10回	合意形成の意味(2)	対象となる事例の根本的な原因に潜む葛藤の要因をそれぞれのステークホルダーの状況から整理し、様々な解がある地域の中で、大切にすべきことをまとめる。	課題の背景を深めるために、対象地域における当時の状況を調べ、まとめる。	ミニッツペーパーとして、授業内で議論したことを構造化し、提出する。
第11回	合意形成の意味(3)	「合意形成の意味」の中で、普遍的な知見を整理する。その視点から自分が探究したいこととこの地域の課題とどのような関係性があるかを整理しまとめる。	他地域の事例と比較し、検証することで、普遍的な知見を整理する。	今回の単元での学びを文章化し、800字程度のミニレポートを作成する。
第12回	被災地の未来に向けて(1)	石巻市の事例をもとに、地域の現状と課題に関して、複数の視点とその背景を議論する。議論のポイント等をミニッツペーパーとして提出し、解決策をまとめた資料を次回授業時に提出する。	事例を読み込み、ワークシートに事例に対する気づき、課題等をまとめてくる。	ミニッツペーパーとして、授業内で議論したことを構造化し、提出する。
第13回	被災地の未来に向けて(2)	対象となる事例の根本的な原因に潜む葛藤の要因をそれぞれのステークホルダーの状況から整理し、様々な解がある地域の中で、大切にすべきことをまとめる。	課題の背景を深めるために、対象地域における当時の状況を調べ、まとめる。	ミニッツペーパーとして、授業内で議論したことを構造化し、提出する。
第14回	被災地の未来に向けて(3)	「被災地の未来に向けて」の中で、普遍的な知見を整理する。その視点から自分が探究したいこととこの地域の課題とどのような関係性があるかを整理しまとめる。	他地域の事例と比較し、検証することで、普遍的な知見を整理する。	今回の単元での学びを文章化し、800字程度のミニレポートを作成する。
第15回	ふりかえり	地域の課題の学修をとおして、地域の課題を解決するための仮説を立て、論理的に検証し、その内容をグループの中で共有し、さらに深める	これまでの学びをワークシートをもとに構造化してくる。	授業内の指示をもとに最終レポートを作成する。

## 3) 成績評価等

成績評価方法	・授業内の小テスト 52% ・テーマごとのミニレポート 20% ・最終レポート 28%
学修に必要な準備	各授業前には、各ケースにおける対象地域の行政情報や復興に関する情報を整理し、自分で設定した仮説を検証する。その他、普段から、復興や地域に関するニュース、特集番組などを視聴する、新聞記事を読む、といったことを心がける。講義で学習したことを自分の観点で整理しまとめることが力になる。また、地域の経営に関する最低限の知識は書籍・雑誌等で身につけるようにする。
履修上の注意	この授業は一方的な講義で終始するものではありません。他の受講生とのディスカッションや、授業時間外の調査も必要になりますので、その心づもりを持って受講してください。また、最終レポートは授業の内容の理解ではなく、それをどのように応用するかを問います。地域の課題を自分事として論理的に設定し、どのような行動ができるかを問います。 (注意)必要に応じて、地域課題版と地域企業版の間で受講者の調整をすることがあります。 ※オフィスアワーについては、授業内で指示します。